

【様式】

令和4年度 学校マネジメントシート

学校名 (久居農林高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		少人数教育を生かし、地域に根ざした専門高校を目指します ・「農業」「家庭」の専門性を生かし、地域社会を担う将来のスペシャリストを育成します ・「生物」「環境」「生活」の情報発信基地として、地域に貢献します
(2)	育みたい 児童生徒像	一人ひとりが主体となって活動し、社会貢献に意欲的に取り組み、自他共に認め合い、自己の成長を実感しながら、将来の地域を担いかつ地域のリーダーとなる意欲を持った生徒
	ありたい 教職員像	各担当教科の専門性を高めるとともに、授業形態や授業内容等の工夫・改善を行い生徒の成長に喜びを感じ、充実感を持って、丁寧かつ柔軟に業務に取り組む教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	○生徒 安心安全で楽しく過ごせる学校、自己の存在が実感できる学校、わかりやすい授業、進路希望の実現 ○保護者 子どもを成長させてくれる信頼できる学校、進路希望の実現、職業観・勤労観および基本的な生活マナーの定着 ○地域住民 地域に開かれた学校、地域を担いかつリードする人材を育てる学校、基本的な生活マナーの定着	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	○保護者 学力定着、進路希望実現、卒業後のケア 生徒が安心・安全に学べる環境 ○地域住民・産業界 教育資源の活用、知識や技能・意欲を持った生徒の育成、基礎学力 ○近隣保・幼・小・中・高校等 教育資源の活用、連携の強化	○保護者 生活指導等への理解と協力、学校行事への参加、生徒の基本的な生活習慣の確立 ○地域住民・産業界 教育方針等の理解、学校経営への協力と参画 ○近隣保・幼・小・中・高校等 教育方針等の理解と協力、連携事業の強化
(3) 前年度の学校関係者評価等	・働きやすい環境づくりについてより一層配慮いただき、教職員が学校の運営に十分に取り組めるように進めていただきたい。 ・新型コロナウイルス感染防止対策に時間を費やすことが増え、過重労働となっているのではないか。 ・進路ガイダンスを通して、生徒たちへの職業への興味付け等、様々な面で進めてもらっている。生徒間のグループワークも効果が出ている場面も見受けられる。今後も、自己肯定感を高めていく必要がある。 ・全校集会は、生徒たちの成長を促す側面もある。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、計画的に進めてほしい。 ・外部の方からも、ここ最近は生徒から挨拶をしてもらえることが多くなったと聞いている。PTA役員の方々にも登校指導に参加していただき、生徒たちへの声かけをしていただいている。今後も、継続して取り組みを進めていくことは重要である。	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の地域連携を代表する取り組みである「わくわく農林塾」は、高校生が同じ地域の小学生等とともに活動したり、自ら学んだ内容を教えることを通じて、学びの理解を深めるとともに、小学生等が高校での学びを身近に感じることでできる機会である。今後も農業学科、家庭学科とも、取り組みを進めていくことが大切である。コロナ禍であることを踏まえて適切な計画を立て、学校として地域連携を進めていきたい。 ・令和3年度から進めている榊原地域との連携事業については、生徒が地域の方々や職業人など多様な人々とかかわりながら、学習活動を推進できる貴重な機会である。本年度はさらに地域の方や行政の方と連携し、地域の活性化や課題解決に取り組む学習活動を拡充させたい。その際、生徒たちの活躍を情報発信し、PRにも努めたい。 ・進路ガイダンスは生徒の進路希望を実現するうえで大切な取り組みである。コロナウイルス感染症対策でオンラインでの対応になる場合もあるが、適切に実施していきたい。日ごろから、ICTを活用し慣れることが大切である。 ・卒業後すぐに社会へ出て行く生徒が多いことから、生徒が基本的な生活習慣の「あいさつ」をきちんと身につけることができるよう、今後も重点的に取り組みたい。さらに、命とからだを大切にす教育活動を進めるため、生徒向けの研修会も継続して取り組みたい。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の各種研修会は、自らの指導力向上、教職員としての使命と責任を自覚するためにも継続して実施したい。(ICT研修、コンプライアンス研修等) ・学校での情報共有は、極めて重要である。組織として動くために情報共有を適切に行い、生徒により丁寧かつ柔軟な指導を行っていくことが大切と考える。 ・情報発信はHPや新聞報道を活用して継続的に取り組む。全コースが取り組めるようにしたい。 ・榊原地域との地域連携は、学校としての特色を出しながら、生徒たちにとってプラスの成果が出るよう取り組みを進める必要がある。地域に貢献し信頼される学校づくりについて全教職員で共有し進めていきたい。 ・学級減が進む中、今後の学校のあり方について検討していきたい。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自ら学ぼうとする意欲を高めるため、自らが課題を設定し解決する学習活動を推進する。 ・生徒の確かな学力の向上を図るため、教員が積極的に授業改善を進め、「わかる授業」「興味を喚起する授業」を行う。 ・生徒の進路希望を実現するため、チーム久居農林で組織的に進路指導をすすめる。あらゆる教育活動をキャリア教育の視点で捉え、就職・進学だけでなく、その先の社会活動を見通した進路指導を推進する。 ・農業クラブ活動や家庭クラブ活動を通して探求活動を推進し、学習成果の発表や意見交換をする場に積極的に参加する。 ・大学や産業界等と連携して実践的な職業教育を推進し、三重の産業で活躍する人材を育成する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢と感動の実現」を合言葉に、教職員が自ら研修し、学習内容の充実や学力向上につながるよう授業改善に努める。 ・不祥事等を絶対起こさないよう学校信頼向上委員会での取組を推進し、全教職員でより一層地域に信頼され必要とされる学校づくりに取り組む。 ・教職員が業務に充実感を得られるよう、互いに認め協力し合い共に働けるチーム久居農林を作っていく。 ・学校の課題や情報を共有し、継続的に改善するための仕組みが機能するようにする。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の 充実	<p>(1)生徒が主体となるような授業を実践</p> <p>【活動指標】 わくわく農林塾を農業・家庭学科各コース2回以上実施</p> <p>【成果指標】 生徒への事後アンケートにより自分の成長を感じたという回答: 85%以上</p> <p>(2)生徒による授業評価を実施</p> <p>【活動指標】 生徒へのアンケートにより授業満足度を把握</p> <p>【成果指標】 授業がわかりやすいという回答:85%以上</p>	(年度末および適宜記載)	◎
キャリア教育 の充実	<p>(1)進路ガイダンスを充実させる</p> <p>【活動指標】 各学年2回</p> <p>【成果指標】 生徒満足度95%以上の維持</p> <p>(2)生徒が主体的に進路を選択し、実現させる力を養う</p> <p>【活動指標】 生徒の主体性の涵養や自己理解の深化、自己肯定感の向上に向けて、インターンシップや担任面談、進路ガイダンス等を活用するとともに、進路実現に繋がる、面接や履歴書等の指導を充実させる。</p> <p>【成果指標】 就職内定者数(率)年内95%以上</p>	(年度末および適宜記載)	
生徒指導の 充実	<p>(1)服装・頭髪等の身だしなみを整える</p> <p>【活動指標】 頭髪・服装指導 年間 8回実施 全校集会による声かけ</p> <p>【成果指標】 頭髪再指導が5%以内<年度最終></p> <p>(2)いじめを許さない学校づくり</p> <p>【活動指標】 ラポール(いじめ)アンケート 年間 3回実施 面談週間 年間 3回実施 声かけ週間 第3週年間10回実施</p> <p>【成果指標】</p>	(年度末および適宜記載)	

	<p>いじめ解消率100%</p> <p>(3)生徒に規則正しい生活習慣を身につけさせる</p> <p>【活動指標】 遅刻カウンター・遅刻カードの活用・生活習慣の改善を目的とした特別指導・生徒会主催の朝のあいさつ運動の実施</p> <p>【成果指標】 学校全体の遅刻の総数を700以下(全校生徒数以下)</p>		
保健管理の充実	<p>(1)健康管理を充実させる</p> <p>【活動指標】 生徒自身が健康状態を把握し、健康の保持増進の意識を高め、健康管理に対する指導を行う。</p> <p>【成果指標】 すべての検診について受診100%にする。</p> <p>(2)相談活動を充実させる</p> <p>【活動指標】 保健室での相談活動を中心に行い、スクールカウンセラーや発達障がい支援員と連携する。</p> <p>【成果指標】 スクールカウンセラーによる相談を6時間×34回実施おこなう。発達障がい支援員を月6時間招聘し生徒の学校生活への不安を取り除く手助けをする。生徒のアンケートによる満足度70%以上にする。</p> <p>(3)命とからだを大切にすることを育む教育活動を充実させる</p> <p>【活動指標】 生徒向け研修会等を実施する。</p> <p>【成果指標】 学年別で各年間1回実施。満足度80%にする。</p>	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p>○チーム久居農林の分掌、学科、コース、学年間の連携、情報交換、情報共有に努める。</p> <p>【活動指標】 教職員アンケートにより職員の満足度を把握する。</p> <p>【成果指標】 昨年度より情報共有が進んだという回答 70%以上</p>	(年度末および適宜記載)	◎

資質向上の取組、信頼される学校づくり	○教職員の各種研修会を実施し、指導力向上に努める(コンプライアンス研修、ICT研修等) 【活動指標】 各学期1回 【成果指標】 参加者の満足度 85%以上	(年度末および適宜記載)	
情報発信	○情報発信を積極的に行う 【活動指標】 学校HPの充実 学校のPR(新聞報道、テレビ等) 【成果指標】 報道 20 件以上・ホームページ月 3 回以上の更新	(年度末および適宜記載)	
地域との連携	○わくわく農林塾の実施 【活動指標】 生徒へのアンケートにより満足度を把握する 【成果指標】 参加してよかったという回答 85%以上	(年度末および適宜記載)	
働きやすい職場環境づくり	○総勤務時間の縮減 原則、毎月第1第3月曜日を定時退校・ノー部活デーとする。 各定期考査で1日(半日単位も可)以上の年休を取得する。 各定期考査中は定時退校とする。 閉校日を設定する。 【活動指標】 ・設定した日の定時に退校できた教職員の割合:80%以上 ・予定通り休養日を実施できた部活動の割合:95%以上 ・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合:80%以上 【成果指標】 ・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数:0人 ・時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数:0人 ・1人当たりの月平均時間外在校等時間:20時間以下 ・1人当たりの年間休暇取得日数:12日以上	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)